

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成30年度】

(④社会体育施設)

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名	東遠カルチャーパーク総合体育館		担当課名	スポーツ振興課	記入者職氏名	主任 戸塚 昭吾
区分	内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市スポーツ施設条例				
	(2)施設設置目的	スポーツの振興を図るとともに、市民(東遠圏域)の健康及び体力を増進させるため				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	アリーナ(66m×37m)、観客席(1,008席)、車椅子席(40席)、武道場(33m×20m)、弓道場(遠的3人立、近的9人立)、研修室(72人収容)、プール(25m×6コース)、トレーニング室、スタジオ、ランニング・ウォーキングコース(1週230m)、託児室、駐車場(最大480台)				
	(4)施設建設年度	平成15年度				
	(5)耐震性能の有無	有				
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	空調設置工事(3億円)				
	(7)指定管理者名	掛川市体協・ミズノ・鹿島建物協働体				
	(8)指定期間	平成29年4月1日 から 平成39年3月31日 まで				
	(9)債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし		※設定ありの場合、(期間 平成29年度～平成38年度) (限度額1,723,534千円)(12施設契約)		
	(10)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度				
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務)		<input checked="" type="checkbox"/> 提出なし			
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成30年度)			

区分		H28実績	H29実績	H30実績	H31当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	256,150	309,660	322,640	330,440	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	282,260	312,551	262,126		
	内訳 (施設・設備ごと)	①トレーニングルーム	46,416	60,127	63,346		
		②スタジオ	15,545	22,914	24,818		
		③プール	54,263	67,042	49,903		
		④アリーナ	86,186	77,208	55,987		
		⑤弓道場	6,664	7,188	7,002		
		⑥武道場	21,993	24,680	19,278		
		⑦研修室	12,579	11,679	12,242		
		⑧その他(託児等)	38,614	41,713	29,550		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	①トレーニングルーム (定員46人)	A平日昼間	50.5%	86.9%	80.1%	※算出式:利用者数÷営業日数÷4.5回転÷46人
			B平日夜間	77.4%	87.4%	87.4%	
			C土日祝昼間	61.8%	69.1%	79.5%	
			D土日祝夜間	37.2%	46.4%	46.7%	
②スタジオ (定員30人)		A平日昼間	85.7%	91.9%	90.9%	(昼間)利用コマ数÷(利用可能コマ数×営業日数) (夜間)利用コマ数÷(利用可能コマ数×営業日数)	
		B平日夜間	89.9%	95.9%	96.5%		
		C土日祝昼間	59.9%	53.9%	54.8%		
		D土日祝夜間	53.7%	63.2%	60.7%		
③プール (定員35人)		A平日昼間	108.5%	106.6%	128.8%	※算出式:利用者数÷営業日数÷4.5回転÷35人	
		B平日夜間	57.9%	61.3%	84.6%		
		C土日祝昼間	79.6%	81.8%	111.1%		
		D土日祝夜間	70.4%	67.6%	46.8%		

2 利用状況	④アリーナ (定員36人)	A平日昼間	72.4%	75.1%	78.4%	※算出式(昼間):利用面数/(利用可能面数:12面×営業日数) (夜間):利用面数/(利用可能面数:4面×営業日数)
		B平日夜間	93.4%	94.9%	96.3%	
		C土日祝昼間	88.9%	90.4%	90.0%	
		D土日祝夜間	92.6%	94.3%	90.3%	
	⑤弓道場 (定員37人)	A平日昼間	129.9%	194.5%	190.0%	※利用者数:(昼夜問わず)/{定員数:12人(近的9人、遠的3人)×営業日数}
		B平日夜間				
		C土日祝昼間				
		D土日祝夜間				
	⑥武道場 (定員38人)	A平日昼間	74.5%	82.0%	79.9%	※算出式(昼間):利用面数/(利用可能面数:6面×営業日数) (夜間):利用面数/(利用可能面数:2面×営業日数)
		B平日夜間	89.5%	92.8%	92.8%	
		C土日祝昼間	65.1%	71.8%	70.4%	
		D土日祝夜間	86.7%	83.9%	85.5%	
区分		H28実績	H29実績	H30実績	H31当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名		NPO法人掛川市体育協会			※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		431	285	324	
	(3)運営日数		308	308	307	307
	(4)運営人員	①正規職員	20	22.0	22.0	22.0
②臨時職員		21	25.0	25.0	25.0	

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H28決算額	H29決算額	H30決算額	H31当初予算額	備考
	①人件費	95,217,188	64,249,231	62,489,898	62,053,000	
	②印刷費	969,649	951,911	941,589	700,000	
	③通信費	803,370	723,400	805,573	784,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	770,132	535,899	685,436	730,000	
	⑤借上料	10,754,730	11,359,621	9,307,689	3,876,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	8,573,350	5,492,440	5,270,820	6,078,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	4,695,657	5,739,041	5,487,835	5,270,000	
	計	121,784,076	89,051,543	84,988,840	79,491,000	
	対前年度増減率		△ 26.9	△ 4.6	△ 6.5	
区分		H28決算額	H29決算額	H30決算額	H30当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	32,194,089	53,138,497	63,190,744	55,307,000	
	建物管理委託	28,670,760	21,710,000	21,710,000	19,440,000	
	プール・トレーニング室運営費	0	23,310,000	30,110,583	25,626,000	
	トレーニング機器保守委託	648,000	648,000	648,000	630,000	
	武道場畳敷・弓道場保守委託	712,282	721,128	604,422	760,000	
	プール水質管理委託	423,360	668,520	586,764	1,550,000	
	プール可動床保守点検	259,200	907,200	907,200	620,000	
	その他	1,480,487	5,173,649	8,623,775	6,681,000	
	②修繕費	4,601,221	1,922,324	2,314,926	1,200,000	
	③光熱水費	34,131,078	32,555,948	28,072,156	31,500,000	
	④燃料費	173,604	181,832	218,183	200,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	6,503,352	7,482,421	5,242,122	4,884,000	
	計	77,603,344	95,281,022	99,038,131	93,091,000	
対前年度増減率		22.8	3.9	△ 6.0		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		199,387,420	184,332,565	184,026,971	172,582,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	61.1	48.3	46.2	46.1
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	47,687,420	41,356,700	38,013,295	
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	39.2	46.4	44.7	

Ⅲ 収支差額の状況 **注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H28決算額	H29決算額	H30決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a) - b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H28決算額	H29決算額	H30決算額	備考
a) 施設利用料金収入	47,687,420	41,356,700	38,013,295	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a - 総コスト)	△ 151,700,000	△ 142,975,865	△ 146,013,676	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	151,700,000	104,910,999	86,114,250	

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H28決算額	H29決算額	H30決算額	備考
a) 自主事業の収入	100,207,567	99,131,268	101,902,824	
b) 自主事業の支出	87,442,395	76,282,523	72,797,243	
収支差額 a) - b)	12,765,172	22,848,745	29,105,581	
c) その他事業の収入			1,200	
d) その他事業の支出			0	
収支差額 c) - d)	0	0	1,200	

IV 担当課による評価

(1)施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	【達成できていない点・主な課題】 ・収支バランスの改善(黒字化) ・新たな財源確保(財源を稼ぐ手法)の検討 【いつまでに、どのように対応するか】 ・地域のスポーツ拠点として定着するよう引き続きPR活動と施設の利用促進を図ること
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2)協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%以上	93.7%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・幅広い利用者層へのサービス展開 【いつまでに、どのように対応するか】 ・既存プログラムの見直しや文化イベント等との協働によるイベントを検討すること
B サービス内容の満足度	90%以上	90.8%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・関係団体の意向を修繕等に反映する 【いつまでに、どのように対応するか】 ・関係団体に意向を聞いて修繕の計画をすること
C 従業員対応の満足度	90%以上	93.3%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・待遇 【いつまでに、どのように対応するか】 ・引き続き待遇研修を実施し、従業員の資質向上に努めること
D 施設安全対策の満足度	90%以上	92.0%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・職員の防災設備取扱方法等について、知識の向上を図る 【いつまでに、どのように対応するか】 ・災害対策マニュアル等の周知や防災訓練を実施すること
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	95.6%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・清掃 【いつまでに、どのように対応するか】 ・清掃マニュアルを周知し、日常清掃点検を強化すること
F 施設の利用者数	322640	262126	2	【達成できていない点・主な課題】 ・幅広い利用者層へのサービス展開 【いつまでに、どのように対応するか】 ・既存プログラムの見直しや文化イベント等との協働によるイベントを検討すること

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	【達成できていない点・主な課題】 ・収支の改善(黒字化) ・新たな財源確保(財源を稼ぐ手法)の検討 【いつまでに、どのように対応するか】 ・事業計画に基づいた収益を上げられるよう、随時計画の見直しを行い、目標を達成すること
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	前年度と同等の収支差額になっている。		
0	前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・職員の防災設備取扱方法等について、知識の向上を図る 【いつまでに、どのように対応するか】 ・災害対策マニュアル等の周知や防災訓練を実施すること
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	1	【達成できていない点・主な課題】 ・中長期修繕計画 ・経営改善計画の見直し 【いつまでに、どのように対応するか】 ・中長期修繕計画を毎年更新すること ・経営改善計画を今年度中に見直しすること
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・収支バランスの改善(黒字化) 【いつまでに、どのように対応するか】 ・引き続き人件費、水道光熱費等支出の削減に努めること ・休館日の営業解放や合宿の誘致等引き続き利用者のニーズを把握し、収入を確保すること。また、新たに財源を稼ぐ方法を検討すること
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	25	/ 33
----	----	------

V その他自由意見

平成30年度は、天井改修工事により、アリーナ、武道場、プールが一定期間使用できなかったため、施設の利用人数については、考慮が必要である。